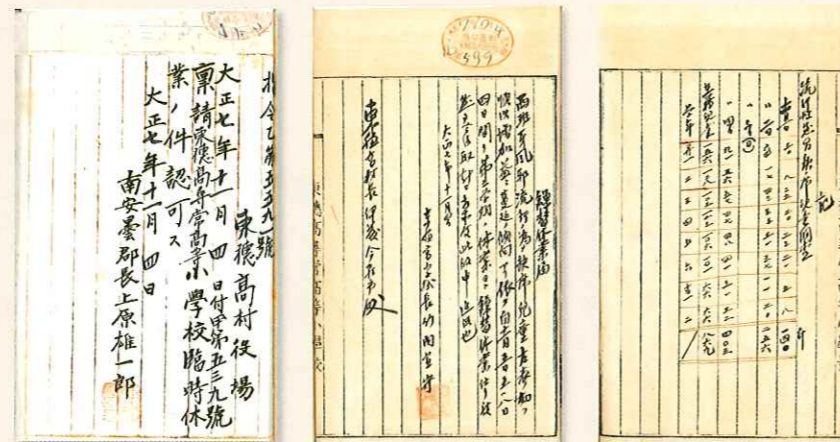


文書が映す安曇野の文化④

新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中を巻き込み、いまだ先行きが見通せない状況です。

ほぼ100年前の1918(大正7)年スペイン風邪が同じように流行しました。堀金尋常小学校10月30日学校日誌には、「伊勢方面旅行団午後5時頃ヲ前後して帰校 スパニッシュインフルエンザの話に花を咲かす」とあります。

右の資料は、東穂高小学校長から村長へ宛てた『繰替休業届』と南安曇郡長から東穂高役場に宛てた認定文書です。欠席児童数を見て驚きました。在籍数869人のうち140人(11/1)、256人(11/2)、403人(11/4)、が欠席となっており、倍増していることがわかります。11月4日、欠席率46.4%となって繰替休業の申請があり、しかも5日から8日までの4日間の繰替休業、3学期の休業日との繰替となっています。当時の記録では、日本でも39万人が亡くなっています。総人口の0.7%にあたります。安曇野市に換算すると約700人になります。感染が広がった理由がわかるように思います。



大正7年学事関係書類 東穂高村役場

編集後記

かつて流行した感染症を取り上げた『史上最悪のインフルエンザ』(2004年、みすず書房)には「忘れられたパンデミック」の副題があります。1918年から1920年にかけて世界中で5000万人ともいえる人が犠牲になっているにもかかわらず、歴史書への掲載や検証文献も少ないのがこの感染症です。当時の信濃毎日新聞を見ても1面を飾ることは一度もありませんでした。今回の新型コロナウイルスとの違いに大きなギャップを感じます。その背景を慶応義塾大学名誉教授速水融氏は、著書『日本を襲ったスペイン・インフルエンザ』で①死亡率が高いと言えない。②突然やってきて人々をなぎ倒したが、あっという間に去り、戻ってこなかった。③超有名な人物の命を奪わなかった。と分析しています。

昨年11月に安曇野市で開催した第45回全史料協全国(安曇野)大会では258人が集い、地域に文書館があることの意味について情報交換することができました。今回取り上げた満願寺文書が安曇野市文書館に所蔵されていることは、その意味でも価値あることです。

文書館紀要が創刊されました。研究活動の成果を記録したものです。入館者や相談、公開資料件数等の数値実績についてはホームページで公表してまいります。(事務局)



利用案内

【開館時間】午前9時～午後5時
【休館日】土曜日、祝日、12月29日から1月3日
【駐車場】約50台(堀金支所・堀金公民館・堀金図書館共用)

ACCESS

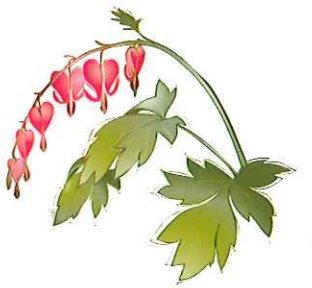
長野自動車道安曇野ICから約5km、自動車約10分
JR大糸線豊科駅から約3km、自動車約6分



安曇野市文書館だより第4号 編集・発行：安曇野市文書館 発行日：2020(令和2)年5月10日
〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川2753番地1 TEL.0263-71-5123 FAX.0263-71-5127
E-MAIL.bunshokan@city.azumino.nagano.jp URL.www.city.azumino.nagano.jp/site/bunsho/

安曇野市文書館だより

第4号



知ること大きな楽しみ

閲覧	相談	調査研究	視察研修	講座講演会	計
438人	246人	359人	253人	198人	1494人

昨年度の文書館利用者の実績です。自宅にある地域資料についての相談依頼が20件ありました。企画展や講座等に参加された皆さんのアンケートでは、満足77%ほど満足21%という結果でした。寄せられた感想として「貴重な収蔵資料を使っの講義は非常に興味深い。」「図書館とは違う資料の性格がよくわかる。」「公文書の大切さ、管理されている方の努力に大変興味を持った。」「講演会や講座に来るのが毎回楽しみ。期待してきています。知ことは大きな楽しみです。」「人物顕彰をシリーズで取り上げてほしい。」「初級の古文書講座を開講してほしい。」などの声をいただきました。

今、新型コロナウイルスで日本はもとより、世界各国で大変な状況です。感染防止のための移動制限により本館でも当初計画していた企画等を変更させていただきました。閉館の場合でも電話やメールでの問合せは可能ですのでお気軽にお問い合わせください。

今年度の予定

※下記の内容及び日程は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、延期または中止となる場合があります。

企画展

後期：安曇野市制施行15周年記念展示
「五つの心をひとつに」

【期間】2020(令和2)年9月6日(日)～12月28日(月)

講演会

「公文書管理」

【期間】2020(令和2)年10月 期日及び講師未定

講座

第7回「感染症との闘い」

【講師】平沢 重人(文書館館長)
【期間】2020(令和2)年6月21日(日)

第8回「小倉官林開墾100年」

【講師】青木 弥保(文書館職員)
【期間】2020(令和2)年9月6日(日)

第9回「広報に見る昭和と平成」

【講師】平沢 重人(文書館館長)
【期間】2020(令和2)年11月8日(日)

第10回バックヤードツアー

【講師】青木 弥保(文書館職員)
【期間】2021(令和3)年1月11日(月・祝)

◎安曇野市制施行15周年記念展示「来た道～忘れ去られた感染症、銃後の守り～」

【期間】2020(令和2)年5月17日(日)～8月31日(月)

すべての子どもたちは、安全で安心した教育を受ける権利が保障されています。しかし、その道筋は厳しいものでした。今から100年ほど前の1918(大正7)年秋から2年間にわたって世界中を震わせ、日本でも39万人という死者を出したスペイン風邪があります。学校現場は、苦悩の対応でした。戦前には銃後の守りの命題の元、応召農家への勤労奉仕が行われています。明治期の後半から小学校3年以上の子どもたちは、螟虫(ずいむし)駆除作業を毎年6月に行っています。いずれも教育活動の中で行われている奉仕活動です。



第45回全史料協全国(安曇野)大会が開催されました

2019(令和元)年11月14日(木)・15日(金)に安曇野市豊科公民館を会場に、第45回全史料協全国(安曇野)大会(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会主催)が開催されました。全国から文書館業務に携わる自治体職員や、資料保存を研究している専門家など258人が集まり、大会テーマ「文書館(ぶんしょかん)をつくる～市町村が拓くアーカイブズ活動～」について意見を交換しました。14日(木)の午前中には、安曇野市文書館をはじめ、豊科郷土博物館や貞享義民記念館の施設見学がありました。また、午後には国立公文書館の加藤丈夫館長による公開講演会「時を貫く記録を活かす～令和の時代に公文書館が望まれること～」があり、多くの市民の方にもご参加いただくことができました。15日(金)には大会テーマ研究会があり、「安曇野市文書館の開館について～公文書館機能ミニマムモデルの活用～」と題して、文書館開館までの歩みを紹介しました。参加者からいただいたアンケートには、多くの文書館(公文書館)が開館している長野県の事例を、地元を持ち帰って役立てたいという意見や、当市の取り組みに勇気付けられたという感想がありました。大会期間中には地元企業による弁当の提供や、土産品の販売があり、安曇野市を全国にPRできた良い機会となりました。



会場には資料保存に関わる企業の展示や、会員の活動発表の場としてポスターセッションもありました。



大会テーマ研究会では3つの事例発表と、討論会が開催され、多くの意見が出されました。

満願寺文書を紹介します

栗尾山満願寺は中世から続く真言宗寺院です。戦国時代に火災に見舞われて伽藍が焼失したらしく、1555(弘治2)年には再興のための資金や資材を集めるための勸進状が書かれています。同寺にはこの勸進状を皮切りに、戦国から江戸時代にかけての古文書が多数伝来しています。1582(天正10)年に戦国大名武田氏を滅ぼした織田信長は、自軍の将兵が満願寺に対して乱妨狼藉を行うこと等を禁じた禁制を発給しました。またこの年に深志城に入城して安曇・筑摩両郡を支配した小笠原貞慶は満願寺を庇護し、その復興を手助けしました。続く石川三長、小笠原秀政、戸田康長ら松本城主からの庇護を受けていたことを示す文書もあります。1638(寛永15)年から1642年まで松本城主を務め、幕閣に重きをなした堀田正盛・正信父子は、後年、徳川将軍の死に際して殉死を遂げました。その際の文書もあり、満願寺と幕府の要人とのつながりを示しています。こうした時の権力者との関わりを示す文書の他にも地元の人々の信仰に関する文書や、密教寺院としての満願寺の活動が分かる文書があります。

豊科郷土博物館では満願寺を総合的に調査した企画展を準備しています。文書館の資料も展示される予定です。



織田信長が発給した禁制
文末には有名な「天下布武」の朱印が押されている。

安曇野市文書館紀要第1号を刊行しました

2020(令和2)年3月に安曇野市文書館紀要第1号を刊行しました。文書館が1年間調査研究活動を行ってきた成果を刊行物にまとめました。5月25日(月)から販売を行います。値段は500円で、郵送での販売も行っております。

[目次]

研究紀要

- 文書館紀要第1号の発行に寄せて…………… 那須野雅好
- 松澤求策と国会開設運動…………… 平沢 重人・逸見 大悟
- 「明治27年 小倉官林保護規約」について…………… 青木 弥保
- 安曇野市文書館所蔵「キ15の設計図」と「神風」号との関連性について…………… 財津 達弥

展示記録

- 改元にみる市民活動…………… 平沢 重人
- あづみの?あづみの?安曇野 ～安曇野市の変遷を探る～…………… 平沢 重人

講演記録

- 近現代における天皇制とは 一明治維新から令和に至るまで一…………… 瀬畑 源
- 安曇野文化人の系譜 一あなたが案内人一…………… 赤羽 康男

資料目録

公文書：旧5町村議会関係文書

研究発表実績

平成30年度及び令和元年度

文書館では他にも、旧5町村の自治体誌や、安曇野風土記なども販売しています。特に、豊科町教育委員会が刊行した『命の水』や、三郷村教育委員会が刊行した『善の綱』『りんご村への道』は、自治体誌に書かれた内容をより深く分かりやすくまとめた書籍です。



定価800円
豊科地域を中心に安曇野地域の堰の開発を解説した書籍です。



定価500円
『善の綱』は槍ヶ岳を開山したとされる播隆上人を紹介した書籍です。
『りんご村への道』は小倉官林の由来から開墾に至るまでの歩みを解説した書籍です。